

## 第 559 回 放送番組審議会

1. 日 時 2020 年 1 月 21 日 (火) 午後 0 時 45 分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6 階 大会議室

3. 委員総数 9 名

出席委員 7 名

委員長	恒川 かおり
副委員長	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	高橋 司
委員	渡辺 理雄
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝

欠席委員 2 名

委員	加藤 千晶
委員	前田 千香子

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
青山 尚之	(専務取締役事業局長)
池田 学	(取締役経営企画局長 兼 技術局長)
柴柳 二郎	(報道制作局長)
小形 恵一	(報道制作局次長 兼 報道部長)
三浦 裕紀	(報道制作局報道部)

事務局

畑山 篤	(取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)
------	-------------------------

#### 4. 議 題

1. 12/28(土)12:55～14:25 いわてことし2019
- 2.その他

#### 5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・視聴者からのご意見

#### 6. 意 見

##### 委員側意見

- 令和のスタートの日に誕生した岩泉の子どもさんとそのご家族を紹介した場面は、生放送だったから余計にほのぼのとして、いかにも新しい元号のスタートらしい感じがした。
- 医大移転、ILC、キオクシアの北上など、今後の展望も少し入れてもえると良かったかなと思った。いわゆる平成生まれのご夫婦の令和最初の赤ちゃんとかはなくてもいいかなと正直思った。
- 実際の取材記者の一言、それぞれ印象的な取材現場の感想等、そういうところを組み合わせていくと、テレビ岩手の顔が見える内容にもなったのではないかと思う。
- 飲酒運転について、「重大事故に繋がるかもしれない。」とか「しないように気を付けましょう。」というコメントがあったのだが、もう少し強く話してもらったほうが良かったかなと感じた。
- 30年を経てインタビューとか、継続的な取材というのが番組に生かされているシーンが幾つもあるって、今後もそういった姿勢で臨んでもらえれば毎年楽しめると思った。
- 台風19号の田の浜地区の洪水被害のところで、「堤防が悪い。」「作った行政が悪い。」みたいな風潮の報道に偏っていたかなというふうに感じた。
- 中継を担当されている蔦さんが152回の中継をする中で、「現場に住む皆さんがニュースを持っている。」「現場の声というものをテレビという立場でどんどん届けていきたい。」、そういった言葉があり、非常に印象に残った。

##### 局側意見

- 令和初日の赤ちゃんについては、少子化が進む岩手の中で、岩泉の山奥に生まれてくれてありがとう、という思いも込めて中継をした。番組で言うと少し遊びの部分でもあり、皆さんに笑顔になってもらえればと思い中継した。
- 赤ちゃんは、産婦人科を当たって見つかったのだが、偶然にもお父さんお母さんが平成元年生まれということで、元号が変わったからということで、やらせていただいた。
- 普代村や釜石など被害が大きい場所はあるのだが、検証の形で伝えることで、今後の

課題や減災のきっかけを与えられるのではないかと思います、あえて田の浜に絞って伝えました。

○報道の偏りという部分のご指摘をいただいたが、確かにフラットな目線で作ることも大切だし、報道機関として踏み込むと言うか、意思を持って攻め込む部分も必要だと思っている。そういう二つの目線を大切にしながら取材を続けていければなと思っています。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 1月28日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>